

田村市立古道小学校

教科名等：学級活動

単元(題材)名：わたしができるおてつだい

学年：第1学年

実施状況

9月6日（日）の日曜参観（ふれあい参観）の日に公開授業を実施したので、両親での参加が多く、ほとんどの保護者に参観してもらうことができました。

最初に、「夕飯の支度をしているところへ来た訪問者に『お母さんはいません』と子どもが答えたのはなぜか」というクイズを出して、保護者にも一緒に考えてもらい、食事の支度は父親も行うことに気付かせようとしたが、なかなか正解は出ませんでした。

「夏休みのお手伝いランキング」では、誰がやったのか手を挙げてもらうことにより、男の子の仕事、女の子の仕事などと区別がないことを確認しました。

夏休みのお手伝いに対するおうちの人からのメッセージの紹介を通して、お手伝いすることの大切さに気付かせ、これからやるお手伝いを考える意欲付けとしました。そして、家族のために自分ができるお手伝いを考え、シートに記入しました。

最後のまとめのクイズでは、「洗濯しているのは、お父さんだ」と、今度は、みんな簡単に答えがわかったので、男は仕事、女は家事というような固定概念が、少しでも改善されたのではないかとうれしく思いました。

児童・生徒の感想

感想をシートに書いたりはしなかったのですが、みんな自分がやろうと決めたお手伝いを、「今日からやるんだ」と意欲満々の様子でした。

参観者の感想

- ・ 難しい課題でしたが、学校及び家庭の両方で子どもと話し合い、理解することができたと思いました。夏休みのお手伝いを振り返り男女共同参画まで理解させる授業の手法に驚かされました。
- ・ 男女、親子にこだわらず、何でも出来ることを実行しようと思う。出来ることの楽しさ、素晴らしさを子どもにも感じてほしい。
- ・ 以前より出来る限り家事を実施しているため、（父親が）、子どもにとってはそれほど違和感を感じていないようです。今後も男女関係に隔たりを持たず実施していきたいと思います。

指導者の感想

男女共同参画社会の形成は、これからますます重要視されていくべきものと考えます。低学年の段階から、男は仕事、女は家事というような固定概念にとらわれずに家庭生活が送れるようこれからも支援していきたいと思います。

